



各教科の評価・評定について —定期テストだけで評価・評定するわけではありません—

校長 河 辺 哲 也

今日から学期末テストです。日頃の授業や家庭学習の成果を、十分に発揮してほしいと思います。さて、学期ごとに行う評価・評定は、お子様だけでなく、保護者の方にとっても最も大きな関心事です。

令和3年度から完全実施された学習指導要領を踏まえ、私たちは各教科の評価・評定を行います。以下の3つの観点です。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| (1) 知識・技能 | 何を理解しているか 何ができるか |
| (2) 思考力・判断力・表現力等 | 理解していること・できることをどう使うか |
| (3) 主体的に学習に取り組む態度 | 自ら、積極的に学習に取り組む態度 |

3観点の評価方法のポイントは、以下の通りです。

① 知識・技能

その教科の内容を支える大切な事項を覚えたり、実験や実技、実習等で必要な技能が身につき、定着していたりしているかどうかを評価します。中間テストや期末テストだけでなく、日頃の小テストや提出物の内容、授業中の実験・実習、作品等も評価します。

② 思考力・判断力・表現力

身につけた知識や技能をもとに、「自分で考え、気づきや感想を書く」「仲間と話し合う」「レポートにまとめる」「発表する」等、「考えたり判断したりする力」や「表現する力」を評価します。中間テストや期末テストはもちろん、「授業中にどんなことを考えたか」「仲間と話し合えたか」「自分の考えが深まったか」ということを踏まえ、ワークシートやノート、話し合いや発表する姿、内容も重要になります。

③ 主体的に学習に取り組む態度

二つの側面から評価します。

ア 学習に取り組む姿勢が前向きで、理解するために粘り強く取り組む態度を評価します。

「忘れ物がない」「宿題や課題に取り組む」「提出物を出す」等が、まず大切です。

また、先生や友達に質問したり、ノートに友達の考えをメモしたり等、授業内容を理解するため、自分なりの工夫をしている態度を評価します。

イ 授業を振り返り、次の授業や家庭学習に生かそうとしているどうかを評価します。

授業後の振り返りやノート、ワークブック等への取組等を評価します。

上のそれぞれの観点について、おおむね達成されれば、評価は「B」になります。そこから学習の高まりや深まりが見られれば、「A」です。逆に、十分に達成されず、学校の授業や家庭学習等で努力を要する場合は「C」になります。上の①②③からわかるとおり、「中間テスト」「期末テスト」の結果だけで、評価するわけではありません。定期テストとともに、日頃の授業の取組が、これまで以上に大切になります。